

○原子力事業所見学会（作業環境視察）

茨城県の「緊急被ばく医療関連情報連絡会」が平成29年度活動の一環として実施された原子力事業所見学会（作業環境視察）に同行する形で、東海ノア協定の「情報等の交換に係る協力活動」として、原子力事業所見学会を平成30年1月10日及び15日の2回開催しました。

視察施設は東京電力(株)福島第一原子力発電所で、東海ノアからは、10日に6事業所から11名が、また15日には6事業所から9名が参加しました。

見学会（視察）は、福島県双葉郡富岡町にある旧エネルギー館に集合し、国道6号を經由して約20分をかけて福島第一発電所まで移動し、入域準備を整えた上、構内専用バス内から福島第一原子力発電所構内の現場を視察しました。

現場視察は、多核種除去設備、地下水バイパス設備、4号機原子炉建屋、陸側凍土遮水壁設備、サブドレイン設備、雑固体廃棄物焼却設備、固体廃棄物貯蔵庫、乾式キャスク仮保管設備、免震重要棟などを、東京電力からの説明を交えて約50分程度かけて順次巡りました。その後、退域時の身体汚染検査や被ばく線量の確認を行ない、移動用バスで旧エネルギー館に戻りました。



3号機原子炉建屋
燃料取り出し用カバー



4号機
燃料取り出し用カバー



陸側凍土遮水壁設備

以 上